

放射能関連情報

(詳しくは市ホームページで)

食品等の放射性物質検査結果 (平成27年8月1日～10月31日)

放射性セシウムの基準値

一般食品(飲料水・牛乳・乳児用食品を除く)…100ベクレル/kg

検査結果の表記について

◎「検出せず」とは、放射性セシウムが存在しないか、検出限界値未満であることを示します。

◎数値の単位…ベクレル/kg

◆我孫子市が実施した放射性物質検査結果

我孫子市産農産物(農政課☎7185-1481)

玄米、こまつな、さつまいもなど52検体で検出せず。

小・中学校給食(学校教育課☎7185-1267)

◎食材検査…巨峰(長野県産)、鶏卵(栃木県産)、さつまいも(千葉県産)、梨(千葉県産)など149検体(うち1検体(牛乳)はゲルマニウム半導体検出器を使用)で検出せず。

◎一週間分丸ごと検査…各校8検体(うち2検体はゲルマニウム半導体検出器を使用)実施。全て検出せず。

保育園給食(保育課☎7185-1490)

◎食材検査…キャベツ(群馬県産)、きゅうり(茨城県産)、にんじん(千葉県産)など134検体で検出せず。

◎一週間分丸ごと検査(ゲルマニウム半導体検出器を使用)…59検体実施。全て検出せず。

あらしき園給食(あらしき園☎7185-2459)、こども発達センター給食(こども発達センター☎7188-0472)…期間中の測定結果は全て検出せず。

市民持ち込み食品等検査(消費生活センター☎7185-1469)

67検体の検査の結果、基準値を超える放射性セシウムが検出されたものはありませんでした。

◆千葉県が実施した放射性物質検査結果

農産物

品目	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137
クリ	9月15日	検出せず	検出せず

水産物

漁場	品目	採取日	放射性セシウム134	放射性セシウム137
手賀沼	ギンブナ	9月4日	15.2	54.5
	コイ	9月4日	22.3	91.4
	モツゴ(全体)	9月4日	6.92	32.6
	スジエビ(全体)	9月4日	7.16	42.4

出荷制限 ◎農産物…しいたけ(原木・露地栽培)、たけのこ

◎水産物…ウナギ(利根川とその支流(手賀沼を含む))、ギンブナ・コイ(手賀沼・手賀川(支流を含む))

出荷自粛 手賀沼のウナギ・ギンブナ・コイを除く全ての魚種と、利根川のギンブナ・テナガエビを除く全ての魚種 ※詳しくは、千葉県ホームページをご覧ください。

手賀沼や利根川で釣りをする方は、釣りあげた魚を食べることを控えていただくとともに、持ち帰る場合はほかの河川に放流しないようお願いいたします。

☎ 農政課☎7185-1481

ホールボディカウンタによる内部被ばく測定

市では、妊婦または平成6年4月2日以降に生まれた方を対象に、今年度も内部被ばく測定費用の一部助成を行っています。

☎ 健康づくり支援課(保健センター)☎7185-1126

第25回 手賀沼ふれあい清掃

手賀沼の豊かな自然環境を守るため、みなさんも清掃に参加してみませんか。

日時 12月6日(日)午前9時～11時(受付8時45分～) ※雨天時は12月13日(日)に延期

場所 手賀沼公園多目的広場集合(申込不要)

☎ 手賀沼課・内線467

※当日の清掃実施の有無は、午前7時30分からテレドーム☎0180-99-1173で確認できます。

12月は大気汚染防止推進月間です
千葉のそらみんなの力でさわやかに

大気汚染防止の冬期対策にご協力ください。

- ◎節電に努めましょう
- ◎室内の暖房温度は20℃をめどに設定し、重ね着などの工夫を心掛けましょう
- ◎暖房機器やガス給湯器の買い替え時には、大気汚染物質の排出の少ない機器を選びましょう
- ◎太陽光などの自然エネルギーを活用しましょう
- ◎自転車や公共交通機関を積極的に利用しましょう
- ◎自動車の買い替え時や使用時には、環境負荷の少ない車を選びましょう
- ◎急発進・急ブレーキを行わないなどのエコドライブを実践しましょう

住宅用火災警報器の設置は全ての住宅に対して義務付けられています。まだ設置していない住宅は、大切な命や財産を守るため、設置しましょう。

住宅火災で死に至った要因のうち、約6割が「逃げ遅れ」です。市内でも住宅用火災警報器の警報音に気付いたため大事には至らなかった事例が報告されています。

「寝室」と「階段(2階に寝室がある場合)」の天井または壁に設置しましょう。

※消防署で住宅用火災警報器や消火器を販売することはありません。不適切な訪問販売にはご注意ください。

☎ 消防本部予防課☎7181-7702

しょう
69 ☎ 手賀沼課・内線5

住宅用火災警報器の設置はお済みですか

我孫子市国際交流協会(AIRA)ではユネスコの寺子屋運動(全ての子どもたちが学校に通えるよう、また成人女性の識字率が向上することを目標とした運動)に協力するため、書き損じハガキを集めています。あなたの書き損じたハガキが、大切な募金に変わります。52円の書き損じハガキは、47円の募金になります。ご協力をお願いします。

書き損じハガキ ユネスコ募金キャンペーン 平成28年2月29日まで 2015

※宛名や住所はマジックなどで塗りつぶしてお持ちください。

回収箱設置所 あびこ市民プラザ、アビシルベ、アビスタ、各行政サービスセンター、AIRA事務局

☎ AIRA事務局☎7183-1231



健康メモ 373 結核について

結核はかつて不治の病と恐れられていましたが、国民生活水準の向上、医学の進歩などにより著しく減少しました。しかし、日本は未だに毎年2万人以上の新しい患者が発生し、2000人以上の方が亡くなっています。咳などが2週間以上続く場合は一度結核を疑ってみる必要があります。結核は咳やくしゃみによって空気中に放出された結核菌を吸い込むことによって空気感染します。免疫力が高ければ多くは感染しないか体内で休眠状態となりますが、加齢や糖尿病、ステロイド剤や抗がん剤の内服などで免疫力が低下すると結核菌が再び活性化し発病します。症状は発熱・咳・痰・易疲労感・寝汗などの通常の風邪と同様の症状が長期間持続します。検査は喀痰塗抹・培養検査・胸部X線・血液で調べるクオンティフェロン検査を行います。治療薬は通常抗結核薬4剤を約6カ月間内服しますが、中断すると多剤耐性菌が誘発されるので副作用に注意して根治させることが重要です。近年でも芸能人や学校、医療機関での結核集団感染が相次いでいます。結核は過去の病ではないということを再認識して頂き、早期治療を心掛けてください。

小倉外科内科 岩部千佳

☎ 健康づくり支援課☎7185-1126